

企業連携出前授業 第10回

- ◆ 日 時 令和元年11月14日(木)15日(金)
9:40~10:25 10:45~11:30
- ◆ 企 業 藤森産業機械(株)
- ◆ 講 師 藤森 久雄 様
- ◆ 小学校 米子市立福米東小学校
- ◆ 対 象 4年生 137名
- ◆ 内 容 生ごみ処理機ってなんだろう



「発明案」の説明をする田淵コーディネーター



生ごみは直接埋立てる前に、燃やして灰にし、体積を小さくして埋め立てます。問題は、燃やすと炭酸ガスが発生し地球温暖化が進んでしまう事です。また、生ごみは水分がほとんどで、クリーンセンターで焼却する際には高温燃焼の中に生ごみを投入することとなり、燃焼温度が急激に下がり、有毒ガス(ダイオキシン)が発生しやすい事も問題の一つだと知りました。生ごみは1ヵ月で東京ドーム一杯分の量が発生しており、年間の処理費用が約1兆円もかかっていることに驚き、また、販売者がお客様の満足を得るために生産・販売を必要以上に多くする事や、給食の食べ残しも生ごみを発生させる大きな原因である事などを知りました。野菜・果物の生ごみの現物を見ながら処分の問題点を知り、生ごみの3Rを楽しく学習しました。

藤森産業機械(株) 藤森社長



★児童アンケートより★

- ・未来の日本が、ゴミであふれないように分別をちゃんとしたいです。
- ・分別のことや、食べ残しのことが分かりました。自分でも分別をしたいです。
- ・スーパーやコンビニで買ったものを消費期限内に食べるように心がけたいです。
- ・生ごみを処理するのに年間1兆円かかると聞いて、びっくりしました。
- ・生ごみが肥料になると知ってびっくりしました。